

津平小学校



学ぶ楽しさを実感する津平っ子の育成

—たけのこスタイルを核とした授業づくり—

本校の教育目標は、校訓「健やか」「仲よく」「考える」が象徴する「体・徳・知」の調和のとれた津平っ子を育成することです。特色ある学校づくりとして、この教育目標の具現化に向け、学校・家庭・地域が一体となって教育活動を進めています。従来行ってきた書写を中心とした課題解決的な学習を生活科や理科にも広げ、他者との協働の中で、学ぶ楽しさを実感する津平っ子を育てていきたいと考えています。

学びを支える教育活動

- 1 にこにこタイム（週1回10～15分）
ソーシャルスキルトレーニングを活用し、「話す」「聞く」力を鍛える。
- 2 ICTタイム（週1回15分）
タブレットの操作方法を学び、適切に使用・活用できる力を培う。



地域・保護者と連携した取り組み

- 1 開かれた学校
運動会、津平キラッと発表会、授業参観、マラソン大会等
- 2 地域・保護者の協力
親子茶摘み活動（4月）
少年防犯隊結成式（5月）
県下唯一の少年防犯隊を結成し、登下校時を利用して防犯活動を行っている。
図書ボランティアによる読み聞かせ・掲示物作成
- 3 外部団体の協力
動物ふれあい教室、アイシン環境学習プログラム、JA主催の米作り等
- 4 情報発信
学級通信、ホームページ、ブログ等で学校の情報を発信している。



研究構想図

《研究主題》

学ぶ楽しさを実感する津平っ子の育成 － たけのこスタイルを核とした授業づくり －

学ぶ楽しさを実感する津平っ子

- 身の回りのもの・ことに対し、驚き・気付き・疑問等をもち、問題を見つける子
- 目の前の問題に対し、進んで解決しようとし、仲間とともに考えを深める子
- 学んだことを生かした活動をしたり、表現をしたりする子

たけのこスタイル

出会う

驚き・気付き・疑問等の
問題を見つける

深める

自分の考えを構築したり、
仲間との関わりの中で考
えを深めたりする

生かす

学んだことを学習や生活に
取り入れたり、表現したり
する

- 【手だて】
- ① わくわくする教材・教具の開発
 - ② 実体験を伴う活動や実験の導入
 - ③ 学びに向かう時間の確保
 - ④ 子供の発達段階に沿った「関わり合い」の設定
 - ⑤ 「めあて・課題」および「まとめ」の提示
 - ⑥ 振り返りの内容・書かせ方の工夫

《仮説》

子供の学びを見通し、興味・関心を生かした学習、生活科・理科の見方・考え方をはたらかせる学習を意図的に組み、意欲が持続するように工夫すれば、主体的・対話的な学びとなり、学ぶことが楽しいと実感する子供が育つであろう。

学びを支える教育活動

ICTタイム

にこにこタイム